

# 香取市国土強靱化地域計画策定に係る 自治会長アンケート及び市民意見募集の結果

## ○調査の概要

### 1. 目的

市民を対象に、自然災害に対して感じていることや災害対策等に関する  
ことについてアンケートや意見募集を実施し、「香取市国土強靱化地域計  
画」の策定に活用することを目的としています。

### 2. 調査方法

#### 【自治会長アンケート】

調査対象：自治会長（全310自治会）

調査方法：郵送による配布、回収

調査期間：令和2年8月17日（月）～9月3日（木）

#### 【市民意見募集】

調査対象：市内に在住・在勤・在学の方

調査方法：市役所等に設置した回答用紙または市ホームページ上の回答  
フォームによる提出

調査期間：令和2年8月20日（木）～9月14日（月）

### 3. 回答状況

自治会長アンケート	市民意見募集	計
241件 (回収率：約77.7%)	28件	269件

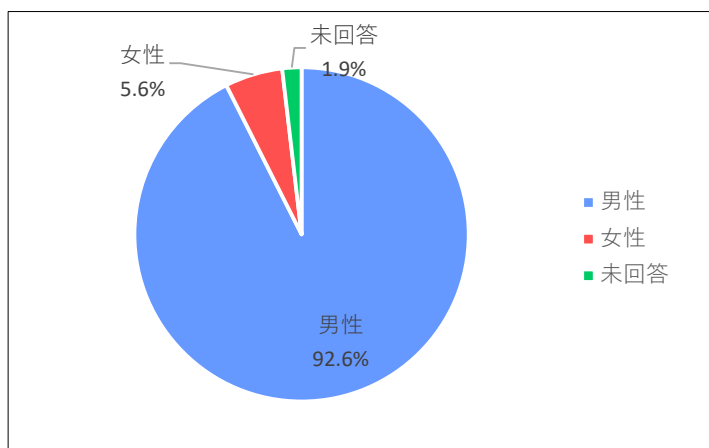
# 国土強靱化地域計画策定に向けた自治会長アンケート・市民意見募集の結果

## 自治会長アンケート・市民意見募集結果（集計）

### ◇回答者に関すること

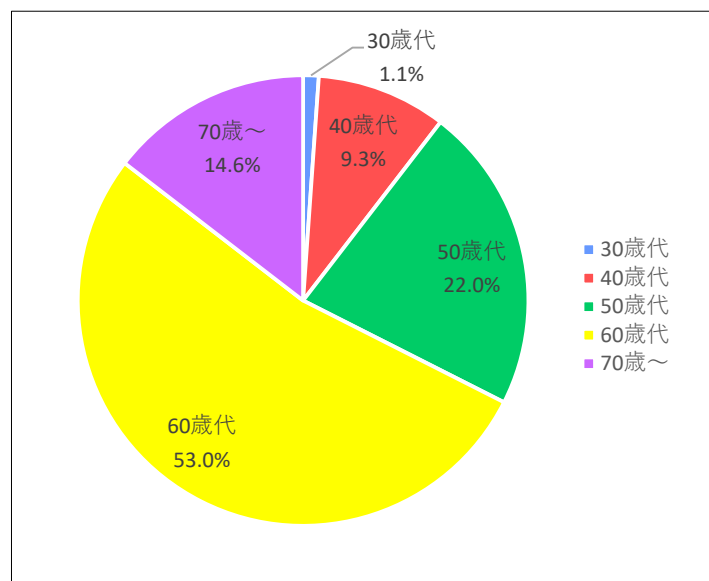
#### 性別

選択肢	回答数
男性	249
女性	15
未回答	5
計	269



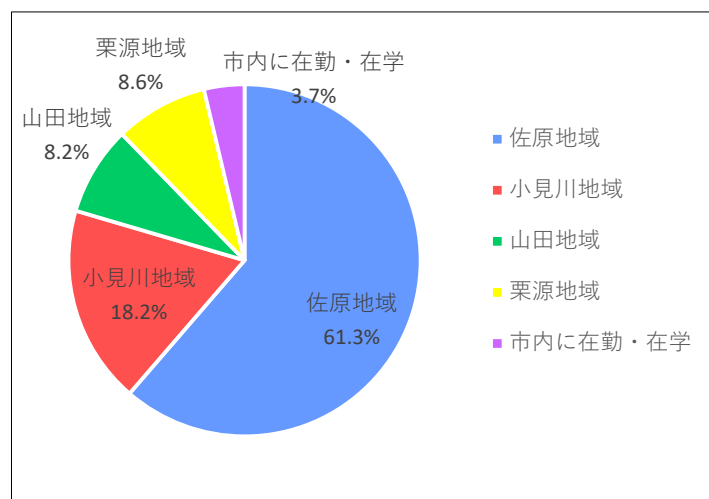
#### 年齢

選択肢	回答数
～19歳	0
20歳代	0
30歳代	3
40歳代	25
50歳代	59
60歳代	142
70歳～	39
計	268



#### 居住地域

選択肢	回答数
佐原地域	165
小見川地域	49
山田地域	22
栗源地域	23
市内に在勤・在学	10
計	269



## ◇自然災害に関する意識について

- ・ 問1の脅威に感じる自然災害として、①地震（約87%）が最も高く、③豪雨（約57%）、⑦暴風（約56%）、④河川氾濫（約46%）と続きました。
- ・ 問2の自然災害への備えとしては、①人命の保護（約86%）、②救助・救急、医療活動等（約72%）、④生活経済活動・ライフライン・交通ネットワーク等（約67%）の3項目が特に高い結果となりました。

### 問1. 今後起こり得る災害のうち、特に脅威に感じるもの

	選択肢	回答数	割合
①	地震	236	87.7%
②	液状化	13	4.8%
③	豪雨	155	57.6%
④	河川氾濫	126	46.8%
⑤	浸水	42	15.6%
⑥	土砂災害	50	18.6%
⑦	暴風	151	56.1%
⑧	落雷	5	1.9%
⑨	豪雪	0	0.0%
⑩	その他	2	0.7%
	計	780	

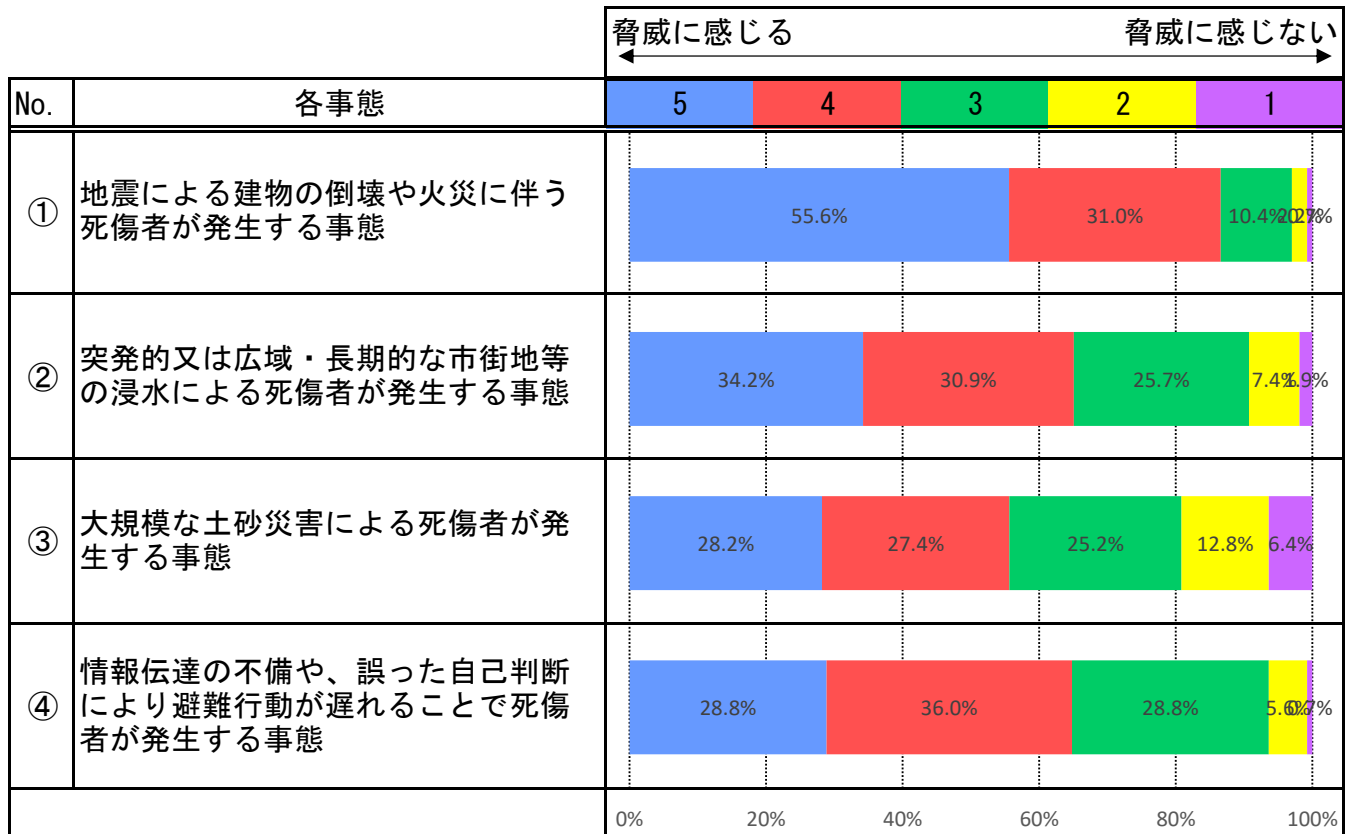
問2. 自然災害への備えとして、特に重要だと思うもの

	選択肢	回答数	割合
①	人命の保護が最大限図られること	233	86.6%
②	救助・救急、医療活動等が迅速に行われること	195	72.5%
③	必要不可欠な行政機能・情報通信機能が確保されること	69	25.7%
④	生活・経済活動を守るとともに、ライフライン・交通ネットワーク等が確保されること	182	67.7%
⑤	制御不能な複合災害・二次災害を発生させないこと	52	19.3%
⑥	地域社会・経済が迅速に再建・回復できるようにすること	39	14.5%
⑦	文化遺産等の地域資源を守るとともに、農業・商工業・観光等の地域経済活動の早期復旧・復興が図られること	16	5.9%
	計	786	

## ◇「人命の保護」に関して

- ・ 問3-1の各事態への脅威度として、4以上を選択した人の割合は、①地震による建物の倒壊や火災に伴う死傷者の発生（約86%）が特に高い結果となりました。
- ・ 問3-2の各事態への対策のうち、重要だと思う項目の割合は、⑩避難所の確保・周知（約40%）、⑧情報伝達体制の強化（約38%）、①建物の耐震化（約36%）、⑤治水対策（約33%）が高い結果となりました。

問3-1. 次の各事態をどれくらい脅威に感じるか



問3-2. 上記の各事態への対策として重要だと思うもの

	選択肢	回答数	割合
①	建物の耐震化	98	36.4%
②	建物の火災対策	28	10.4%
③	空き家対策	23	8.6%
④	無電柱化の推進	36	13.4%
⑤	治水対策	91	33.8%
⑥	道路冠水対策	76	28.3%
⑦	防災無線等の防災対策	46	17.1%
⑧	情報伝達体制の強化	103	38.3%
⑨	ハザードマップの作成・周知	47	17.5%
⑩	避難所の確保・周知	108	40.1%
⑪	防災訓練の充実	14	5.2%
⑫	消防団・自主防災組織の充実	30	11.2%
⑬	地域防災力の向上	48	17.8%
⑭	防災教育の充実	23	8.6%
⑮	その他	8	3.0%
	計	779	

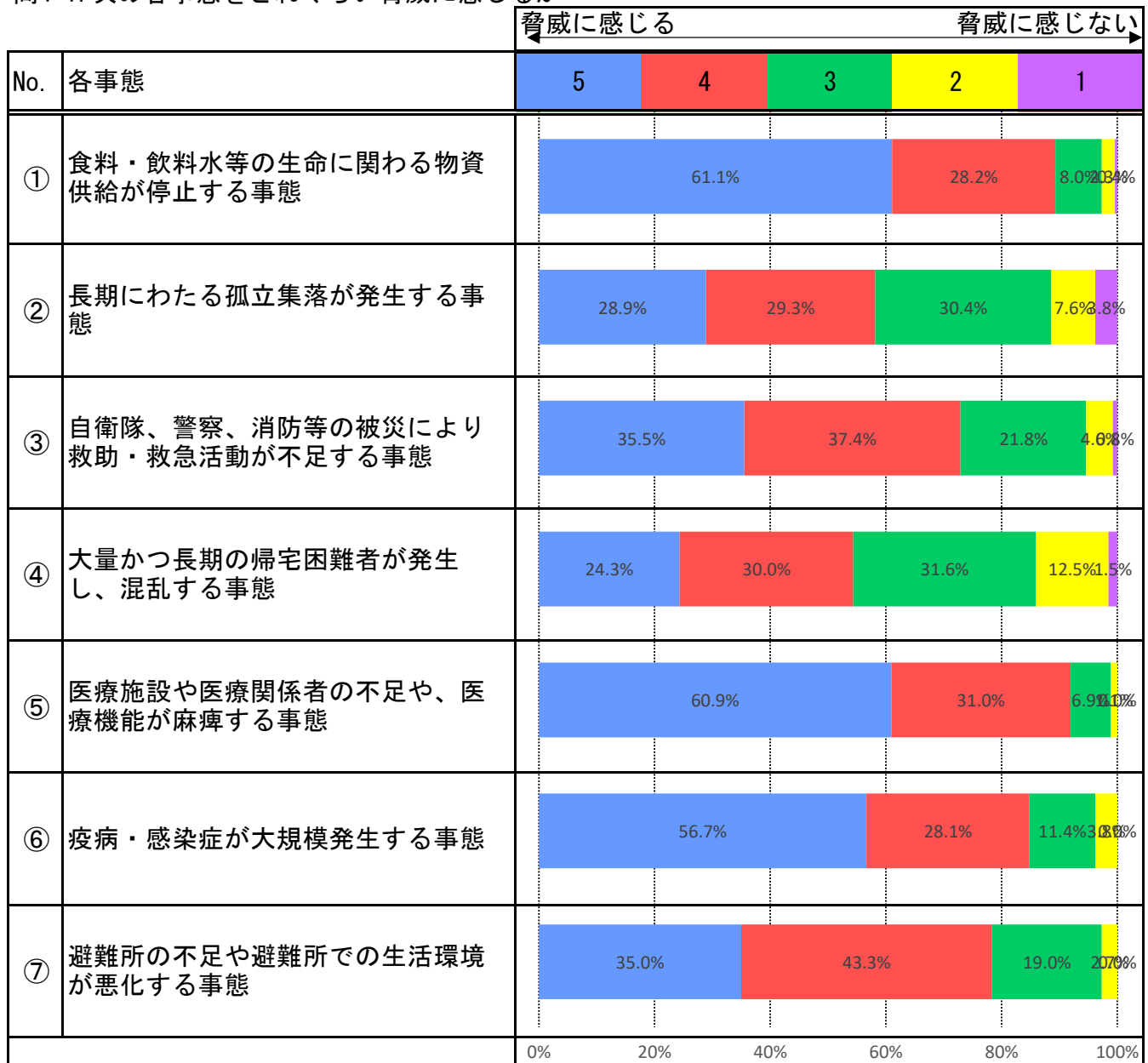
回答数上位5項目

	選択肢	回答数	割合
⑩	避難所の確保・周知	108	40.1%
⑧	情報伝達体制の強化	103	38.3%
①	建物の耐震化	98	36.4%
⑤	治水対策	91	33.8%
⑥	道路冠水対策	76	28.3%

◇「救助・救急、医療活動等の迅速な実施」に関して

- ・ 問4-1の各事態への脅威度として、4以上を選択した人の割合は、⑤医療施設等の不足、医療機能の麻痺（約91%）、①食料・飲料水等の物資供給停止（約89%）、⑥疫病・感染症の大規模発生（約84%）の3項目が特に高い結果となりました。
- ・ 問4-2の各事態への対策のうち、重要だと思う項目の割合は、②応急給水体制の整備（約39%）、⑧非常電源設備の整備（約36%）、⑩支援物資の調達・供給体制の整備（約34%）が高い結果となりました。

問4-1. 次の各事態をどれくらい脅威に感じるか



問4-2. 上記の各事態への対策として重要だと思うもの

	選択肢	回答数	割合
①	水道施設の耐震化	71	26.4%
②	応急給水体制の整備	107	39.8%
③	道路ネットワークの整備	33	12.3%
④	橋梁の維持管理	11	4.1%
⑤	樹木の事前伐採	54	20.1%
⑥	ヘリコプターによる救助体制	10	3.7%
⑦	消防庁舎・車両の整備	0	0.0%
⑧	非常電源設備の整備	99	36.8%
⑨	備蓄品の確保	39	14.5%
⑩	支援物資の調達・供給体制の整備	93	34.6%
⑪	帰宅困難者の輸送対策	4	1.5%
⑫	イベント時の観光客の避難対策	1	0.4%
⑬	医療関係団体等との連絡体制	57	21.2%
⑭	消毒、害虫駆除等の実施	5	1.9%
⑮	感染症予防対策・予防接種の実施	36	13.4%
⑯	汚水処理施設等の被災対策	8	3.0%
⑰	避難所の確保・周知	47	17.5%
⑱	避難所における衛生管理	31	11.5%
⑲	応急手当・救命措置等普及啓発	16	5.9%
⑳	消防団・自主防災組織の充実	19	7.1%
㉑	地域防災力の向上	18	6.7%
㉒	その他	2	0.7%
	計	761	

回答数上位5項目

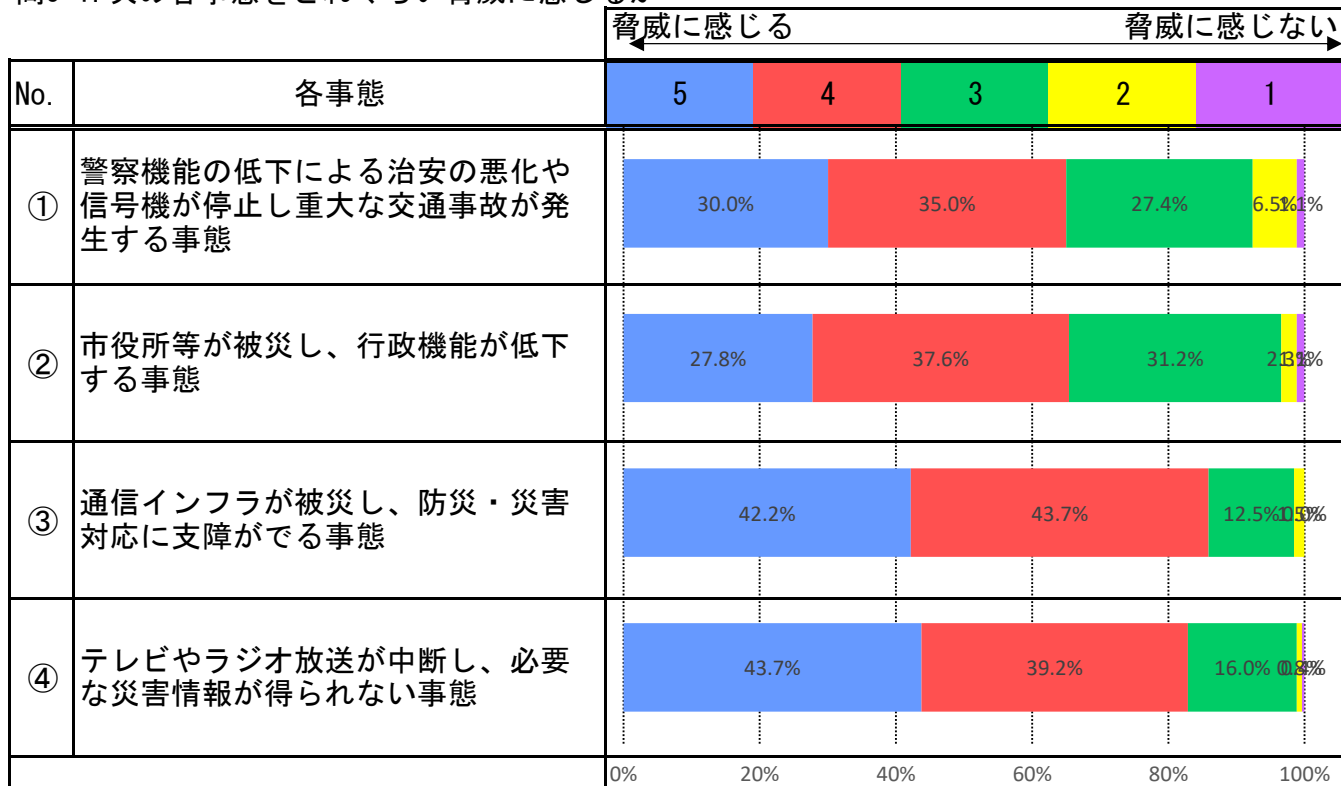
	選択肢	回答数	割合
②	応急給水体制の整備	107	39.8%
⑧	非常電源設備の整備	99	36.8%
⑩	支援物資の調達・供給体制の整備	93	34.6%
①	水道施設の耐震化	71	26.4%
⑬	医療関係団体等との連絡体制	57	21.2%



◇「行政機能・情報通信機能の確保」に関して

- ・ 問5-1の各事態への脅威度として、4以上を選択した人の割合は、③通信インフラの被災（約85%）、④テレビやラジオ放送の中断（約82%）の2項目が特に高い結果となりました。
- ・ 問5-2の各事態への対策のうち、重要だと思う項目の割合は、⑦非常電源設備の確保（約58%）が特に高い結果となりました。

問5-1. 次の各事態をどれくらい脅威に感じるか



問5-2. 上記の各事態への対策として重要だと思うもの

	選択肢	回答数	割合
①	防犯意識の向上	49	18.2%
②	防犯カメラの設置	47	17.5%
③	信号機の停電対策	61	22.7%
④	信号機の停止による交通渋滞・事故への対策	64	23.8%
⑤	公共施設の耐震化	35	13.0%
⑥	庁舎の代替機能の確保	53	19.7%
⑦	非常電源設備の確保	157	58.4%
⑧	業務システム・情報システムの防災対策	76	28.3%
⑨	行政職員の感染症対策	8	3.0%
⑩	市HPのアクセス集中対策	8	3.0%
⑪	防災無線等の防災対策	65	24.2%
⑫	避難所の通信環境の整備	46	17.1%
⑬	地域防災力の向上	51	19.0%
⑭	その他	3	1.1%
	計	723	

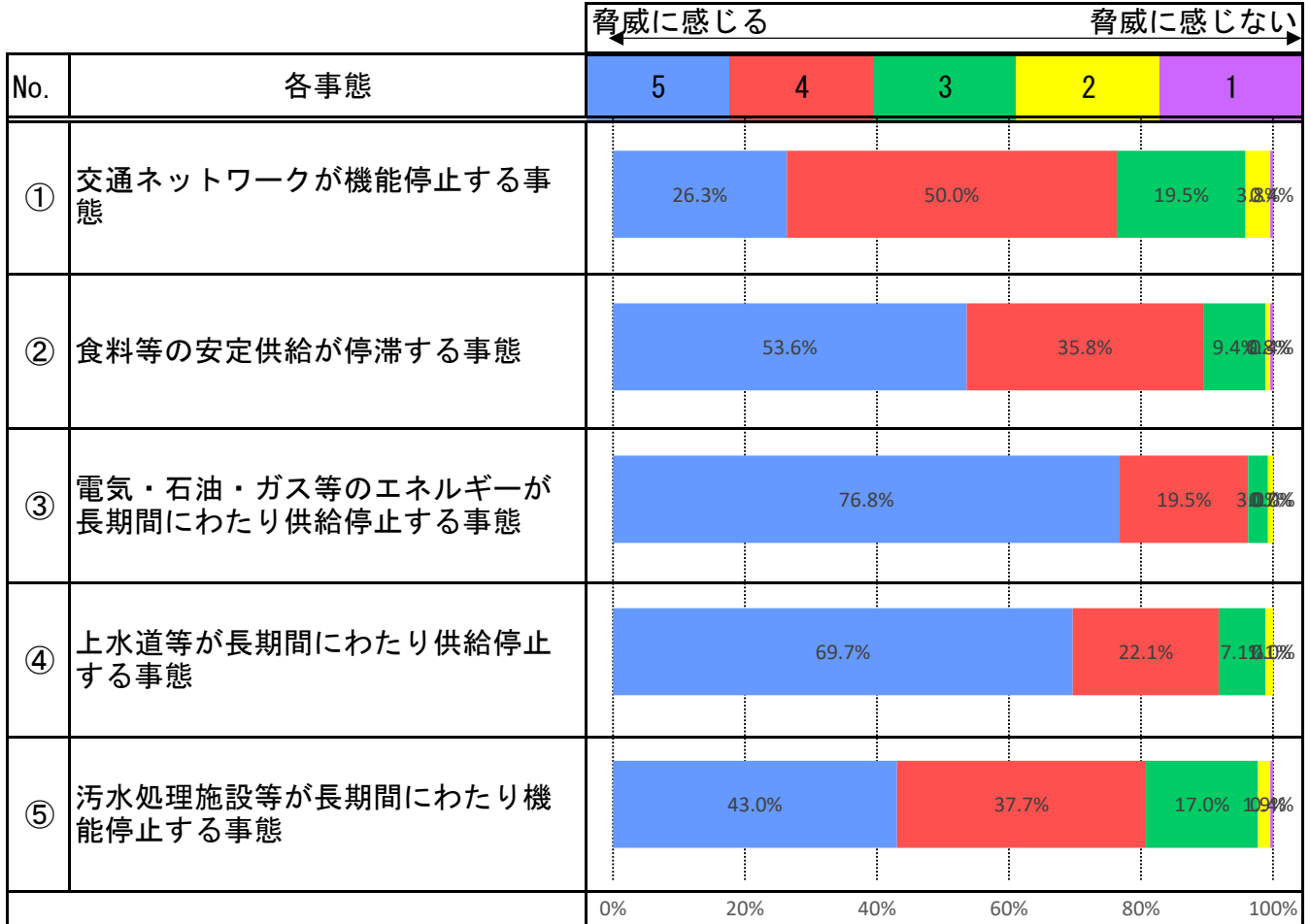
回答数上位5項目

	選択肢	回答数	割合
⑦	非常電源設備の確保	157	58.4%
⑧	業務システム・情報システムの防災対策	76	28.3%
⑪	防災無線等の防災対策	65	24.2%
④	信号機の停止による交通渋滞・事故への対策	64	23.8%
③	信号機の停電対策	61	22.7%

◇「生活・経済活動の保護やライフライン・交通ネットワークの確保」に関して

- ・ 問6-1の各事態への脅威度として、4以上を選択した人の割合は、全ての項目で高かったが、③電気・石油・ガス等のエネルギーの長期間にわたる供給停止（約96%）、④上水道等の長期間にわたる供給停止（約91%）、②食料等の安定供給の停滞（約89%）の3項目が特に高い結果となりました。
- ・ 問6-2の各事態への対策のうち、重要だと思う項目の割合は、⑪電気・ガス等のライフライン施設の耐震化（約57%）が特に高かったほか、⑫非常用電源設備等の整備（約34%）、⑦道路復旧体制の確立（約30%）と続きました。

問6-1. 次の各事態をどれくらい脅威に感じるか



問6-2. 上記の各事態への対策として重要だと思うもの

	選択肢	回答数	割合
①	沿道の建物等の耐震化	16	5.9%
②	道路ネットワークの整備	49	18.2%
③	橋梁の維持管理	16	5.9%
④	樹木の事前伐採	55	20.4%
⑤	無電柱化の推進	35	13.0%
⑥	公共交通体制の整備	11	4.1%
⑦	道路復旧体制の確立	82	30.5%
⑧	農業生産基盤の整備	13	4.8%
⑨	農業の担い手育成	5	1.9%
⑩	道の駅の防災機能の整備促進	6	2.2%
⑪	電気・ガス等のライフライン施設の耐震化	154	57.2%
⑫	非常用電源設備等の整備	92	34.2%
⑬	水道施設の耐震化	76	28.3%
⑭	応急給水体制の整備	65	24.2%
⑮	下水道施設の耐震化	31	11.5%
⑯	合併浄化槽の整備	8	3.0%
⑰	備蓄品の確保	42	15.6%
⑱	その他	3	1.1%
	計	759	

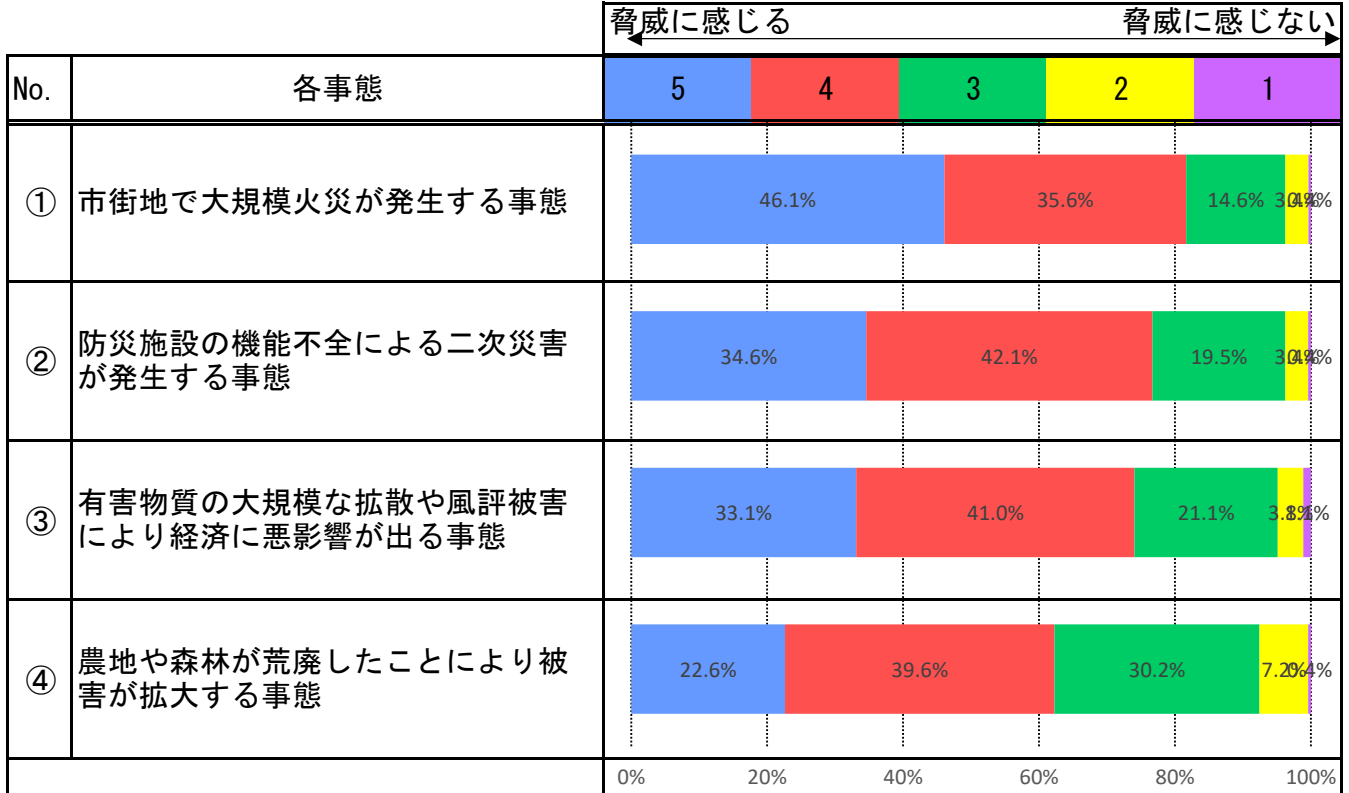
回答数上位5項目

	選択肢	回答数	割合
⑪	電気・ガス等のライフライン施設の耐震化	154	57.2%
⑫	非常用電源設備等の整備	92	34.2%
⑦	道路復旧体制の確立	82	30.5%
⑬	水道施設の耐震化	76	28.3%
⑭	応急給水体制の整備	65	24.2%

## ◇「複合災害・二次災害」に関して

- ・ 問7-1の各事態への脅威度として、4以上を選択した人の割合は、①市街地で大規模火災が発生（約81%）が特に高い結果となりました。
- ・ 問7-2の各事態への対策のうち、重要だと思う項目の割合は、③防災施設の適切な管理（約42%）、①建物の火災対策（約32%）、④水道施設の耐震化（約31%）、⑥地域防災力の向上（約30%）が特に高い結果となりました。

問7-1. 次の各事態をどれくらい脅威に感じるか



問7-2. 上記の各事態への対策として重要だと思うもの

	選択肢	回答数	割合
①	建物の火災対策	88	32.7%
②	空き家対策	68	25.3%
③	防災施設の適切な管理	115	42.8%
④	水道施設の耐震化	84	31.2%
⑤	消防団・自主防災組織の充実	49	18.2%
⑥	地域防災力の向上	83	30.9%
⑦	有害物質流出防止対策	68	25.3%
⑧	風評被害対策の実施	44	16.4%
⑨	農業生産基盤の整備	27	10.0%
⑩	耕作放棄地対策	49	18.2%
⑪	農業の担い手育成	21	7.8%
⑫	林業の担い手育成	9	3.3%
⑬	その他	3	1.1%
	計	708	

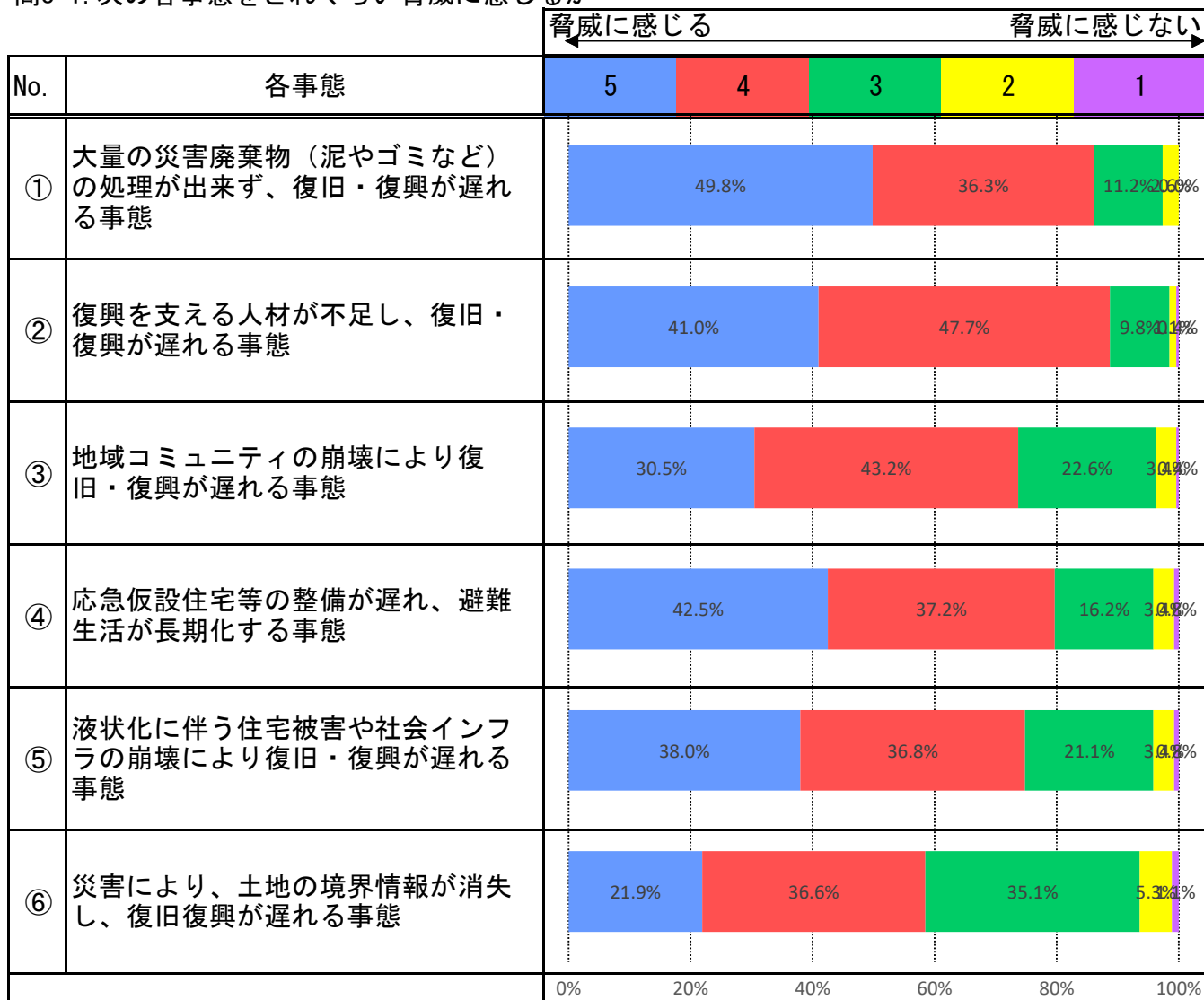
回答数上位5項目

	選択肢	回答数	割合
③	防災施設の適切な管理	115	42.8%
①	建物の火災対策	88	32.7%
④	水道施設の耐震化	84	31.2%
⑥	地域防災力の向上	83	30.9%
②	空き家対策	68	25.3%

## ◇「地域社会や経済の再建・回復」に関して

- ・ 問8-1の各事態への脅威度として、4以上を選択した人の割合は、②復興を支える人材の不足し、復旧・復興が遅れる（約88%）、①災害廃棄物の処理が出来ず、復旧・復興が遅れる（約86%）が特に高い結果となりました。
- ・ 問8-2の各事態への対策のうち、重要だと思う項目の割合は、③国・県・他市町村との応援体制の強化（約70%）、①災害廃棄物処理体制の確立（約66%）が特に高いほか、⑧ライフライン、インフラ施設の液状化対策（約31%）と続きました。

問8-1. 次の各事態をどれくらい脅威に感じるか



問8-2. 上記の各事態への対策として重要だと思うもの

	選択肢	回答数	割合
①	災害廃棄物処理体制の確立	180	66.9%
②	廃棄物処理施設の耐震化	34	12.6%
③	国・県・他市町村との応援体制の強化	189	70.3%
④	ボランティア受入体制の整備	66	24.5%
⑤	建設業・農業等の産業の担い手確保対策	31	11.5%
⑥	地域防災力の向上	58	21.6%
⑦	応急仮設住宅の早期整備	64	23.8%
⑧	ライフライン、インフラ施設の液状化対策	85	31.6%
⑨	住宅の液状化対策の広報・周知	10	3.7%
⑩	液状化マップの作成・周知	20	7.4%
⑪	地籍調査の推進	11	4.1%
⑫	その他	1	0.4%
	計	749	

回答数上位5項目

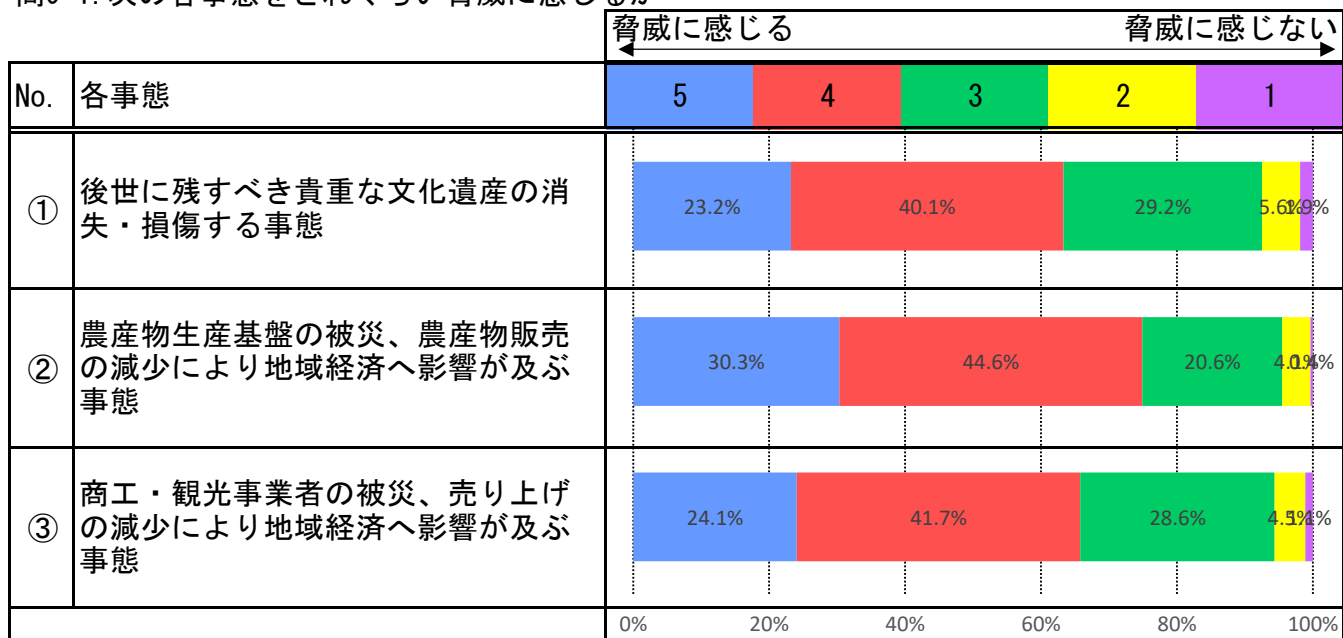
	選択肢	回答数	割合
③	国・県・他市町村との応援体制の強化	189	70.3%
①	災害廃棄物処理体制の確立	180	66.9%
⑧	ライフライン、インフラ施設の液状化対策	85	31.6%
④	ボランティア受入体制の整備	66	24.5%
⑦	応急仮設住宅の早期整備	64	23.8%



◇「文化遺産等の地域資源の保護や農業・商工業・観光等の地域経済活動の復旧・復興」に関して

- ・ 問9-1の各事態への脅威度として、4以上を選択した人の割合は、②農産物生産基盤の被災、農産物販売の減少により地域経済へ影響が及ぶ事態（約75%）が最も高い結果となりました。
- ・ 問9-2の各事態への対策のうち、重要だと思う項目の割合は、⑦被災事業者への支援（約48%）、①文化財等の防災対策（約45%）、⑧被災農家への支援（約42%）、④適切な情報発信体制の整備（約36%）、②地域文化の保護・維持（約34%）が高い結果となりました。

問9-1. 次の各事態をどれくらい脅威に感じるか



問9-2. 上記の各事態への対策として重要だと思うもの

	選択肢	回答数	割合
①	文化財等の防災対策	121	45.0%
②	地域文化の保護・維持	92	34.2%
③	地域コミュニティの保護・維持	72	26.8%
④	適切な情報発信体制の整備	99	36.8%
⑤	誘客事業の実施	17	6.3%
⑥	販売促進事業の実施	28	10.4%
⑦	被災事業者への支援	129	48.0%
⑧	被災農家への支援	113	42.0%
⑨	農業の担い手確保	30	11.2%
⑩	その他	2	0.7%
	計	703	

回答数上位5項目

	選択肢	回答数	割合
⑦	被災事業者への支援	129	48.0%
①	文化財等の防災対策	121	45.0%
⑧	被災農家への支援	113	42.0%
④	適切な情報発信体制の整備	99	36.8%
②	地域文化の保護・維持	92	34.2%